

伊豆の昔話より

てんぐのコマ (5場)

原作 根岸 純子
作 藤原 玄洋

様

でてくるもの

小僧
和尚
烏天狗 (コマ屋)
大天狗
天狗たち
チヨン太 (リス)
チヨン吉 (リス)
司会

スタッフ

原作 根岸 純子
作 藤原 玄洋
演出
演出助手
舞台監督
舞台美術
人形美術
音楽
音響効果
制作
美術作業

第1場 山寺の本堂

SE 鳥のさえずり

——音楽。

秋の朝。舞台奥上手よりに、阿弥陀様の像の可動パネル。

鳥のさえずりが聞こえる。

ほうきを持った小僧、阿弥陀様の裏下手側より登場。

小僧 あ、あーああ。(伸びをする) 眠いなあ。さあて、そうじを始めるか。

(ケコミ上を歌いながらそうじする) ♪毎日、まいにち、おーそうじ、小僧は、
毎日、まいにち、おーそうじ。毎日、まいにち、おーそうじ、小僧は、
毎日、まいにち、おーそうじ。

——上手ソデより、2匹のリス登場。

チヨン太 小僧さん、おはよう。

小僧 やあ、チヨン太にチヨン吉、おはよう。どうしたんだい？

チヨン太 小僧さんに、お願いがあつて来たんだ。

小僧 お願いって？

チヨン太 ボクたち、ドングリでコマを作ったんだ。

チヨン吉 だけど、うまく回せないんだ。

チヨン太 それで、小僧さんに教えてもらいたいんだ。

小僧 どれ、見せてごらん。

チヨン吉 はい、これ。(コマを出す)

小僧 なかなか、うまくできてるじゃないか。じゃ、回して見せてごらん。

二匹 えいっ！

——リスたち、コマを回すが、うまくいかない。

小僧 もう一度。

二匹 えいっ！ (やはり、うまくいかない)

小僧 ちよっと、かしてごらん。ドングリのコマだったら、こうやって…

…それーっ。

——小僧、見事にコマを回す。

小僧 もひとつ、おまけに……それーっ。(もう、ひとつのコマも回す)

==== SE :
コマ回し

二匹 すごい、すごい。小僧さんは、コマ回しの名人だね。

小僧 お前たちも、やっこらん。

チヨン太 わかった。チヨン吉、いくぞ！

二匹 えいっ！ (コマ、少しまわるが、すぐ止まる)

小僧 ダメダメ、からだ全部を使って、力いっぱいやるんだ。

二匹 いっせーのせっ！ えーいっ！ (コマ、前より、少し永く回る)

小僧 うまい、うまい。その調子。もう一度、いくよっ。コマをちゃんと
持つてー……そーれっ！

——今度は、2つのコマ、くるくる回る。

チヨン吉 すごい、すごい。小僧さん、ありがとう。

チヨン太 今日は、お祭りだから、ボクたちもコマ回しをして遊ぶんだ。

小僧 お祭りって？

チヨン吉 知らなかったの？ 今日は、村の鎮守様のお祭りだよ。

チヨン太 縁日で、いろんなお店が出るんだよ。小僧さんも、行くんだろ

う？

小僧 ボクも行きたいなあ。

和尚(声) 小僧や、こぞう。

チヨン太 和尚さんが、お呼びだ。ボクたち、帰るね。

——チヨン太、上手ソデに退場。

チヨン吉 小僧さん、ありがとう。

——チヨン吉、追いかけるように、上手ソデに退場。

和尚(声) 小僧や、こぞう。

小僧 はーい、和尚様

——和尚、阿弥陀様のパネル裏下手側より登場。

小僧 和尚様、おはようございます。

和尚 おはよう。小僧や、そうじはすみましたか。

小僧 はーい。本堂の隅から隅までいたしました。

和尚 そうか、それは感心。では、お経の勉強を始めましょう。

小僧 えー、また、やるんですかあ？ 昨日もやったじゃないですかあ。

SE

木魚

和尚 バカ者、お経は、毎日やるものだ。そこに、座って。
小僧 (不満そうに) はーい。
和尚 それでは、始めますよ。

——和尚、阿弥陀様側のケコミに座る。小僧も、その後ろに座る。

和尚 なんまいだー、なんまいだー。(小僧を振り返り) ほれ、お前も後につ
いてお経を唱えるのじゃ。なんまいだー、なんまいだー。

小僧 なんまいだー、なんまいだー。

和尚 そうそう、その調子。なんまいだー、なんまいだー。なんまいだー、
なんまいだー。

小僧 なんまいだー、おまつりだー。おまつりだー、おまつりだー。

和尚 これ、「おまつりだー」ってなんだ。ちゃんとやりなさい。

小僧 和尚様、今日は、村の鎮守様のお祭りなんです。ボクも、お祭りに
行きたいんです。

和尚 今日はダメじゃ。ワシは下ノ村しもに、これから出かけねばなりません。

SE

木魚

お前は、留守番じゃ。

小僧 留守番ですかあ？

和尚 お経を続けるぞ。なんまいだー、なんまいだー。なんまいだー、な
んまいだー。

小僧 なんまいだー、るすばんだー。なんまいだー、るすばんだー。

和尚 これ、マジメにやらないと、おこりますよ。今日のお経は、ここま
で。お前にお経を教えるのは、肩がこる。

小僧 (猫なで声で) 和尚さまー、肩をたたいてさし上げましょう。

和尚 そうか、ありがたい。それじゃあ、お願いしますよ。

♪ お寺の和尚さん 肩こりだ お経の後に 肩たたき

トントントントン 肩たたき

鎮守の森の お祭りだ 祭りのタイコ 聞こえるよ

トントントントン お祭りだ

和尚 小僧や、ありがとう。お前は、そんなに、お祭りに行きたいのか？
小僧 はい。お祭りには、たくさんお店が出るそうです。

M₂

肩たたき

和尚 仕方がない、行ってもよい。行ってもよいが、その前に、本堂の拭きそうじを、全部すませるのだぞ。

小僧 (元気に) はーい、和尚様。

和尚 ゲンキなヤツじゃ。じゃが、祭りに天狗がやってきて、子どもをさらっていくというウワサじゃ。気をつけるんじゃぞ

小僧 はーい、和尚様。

和尚 じゃ、ワシは出かけるから、しっかりやるんじゃぞ。

小僧 はーい、和尚様。

——和尚、下手ソデに退場。

小僧 じゃ、早いところそうじをすませて、お祭りに行こう。

M₃ 拭きそうじ

♪ 拭き拭き おそうじ 拭きそうじ

(そうじに合わせて、繰り返し)

小僧 はい、いっちょう、上がりつつお。(雑巾を片づけ) 暗くならないうちに出かけよう。

M₄ 祭りばやし

——小僧、下手ソデに退場。

祭りのお囃子が聞こえる。

第2場 村の鎮守様

——舞台奥の、阿弥陀様のパネル、裏返ると祭りを思わせる背景が変わる。

パネル上の両端から舞台ソデ上・下手に祭り提灯がかかる。下手ケコミに、草むら。

烏天狗、上手ソデから登場。烏天狗は、キツネの面をかぶってコマ屋に化けている。

烏天狗(コマ屋) さて、この辺で店開きた。フフフツ、このコマに集まってきた子どもを連れて帰って、天狗の家来にしてやる。仕掛けは、
「
覧じろ……フフフツ。」

——烏天狗、ケコミ中央に、色とりどりのコマを並べる。

小僧、下手ソデから登場。

※※※ SE

ふしぎなコマ

小僧 (下手寄りケコミで傍白) お祭り、おまつりだあ。でも、なんだか、さ
みしい所だなあ。

烏天狗 さあ、さあ、色とりどりのコマはいかが？ 赤いコマ、白いコマ。

青いコマ、黄色いコマ。いろいろあるよ。

小僧 (コマ屋を見つけ) あっ、コマだあ。いっぱいあるなあ。(駆け寄る)

烏天狗 さあ、さあ、色とりどりのコマはいかが？

小僧 いろいろあるなあ。

烏天狗 小僧、コマがほしいのか？

小僧 でも、ボクお金持っていないなあ。

烏天狗 なんだ、金持っていないのか。行ったいった、あっちに行った。

小僧 見るだけなら、いいだろう？

烏天狗 じゃま、じゃま。商売のじゃま。行ったいった、あっちに行った。

小僧 おじさん、どうして背中に羽根なんか付けてるの？

烏天狗 うるさい。行ったいった、あっちに行った。

小僧 おじさん、天狗なの？

烏天狗 うるさい。

小僧 天狗だーあ、天狗だーあ、天狗がいるよ。

烏天狗 (あわてて) 静かにしろ！

小僧 天狗だーあ、天狗だーあ、天狗がいるよ。

烏天狗 おい、小僧。静かにしろ！ ここにあるコマ、どれでもやるから、

あっちに行った。

小僧 ボクにくれるの？ でも、こんなんで、ごまかすの？ 天狗だーあ、

天狗だーあ、天狗がいるよ。

烏天狗 静かにしろってのが、わからんのか。

小僧 天狗だーあ、天狗だーあ、天狗がいるよ。

烏天狗 しかたがない、コレをやるよ。(裏から、きらきら光るコマを出す) コレを
やるから、とつとと帰ってくれ。

小僧 わーっ、キラキラ光ってる。これ、ボクにくれるの？

烏天狗 気の変わらないうちに、さっさと行け！

小僧 ありがとう、おじさん。いい人なんだね。

——小僧、下手に退場。

烏天狗 (見送って) ちえ、しようのないヤツだ。あとで、取り返してやるから、まあ、いいか……。ちえつ、ここは、ケチがついた。場所を変えて、やり直した。

M₅ 山寺へ

——烏天狗、店をたたんで、上手に退場。
ブリッジの音楽。

第3場 山寺の本堂

——場面転換すると、リスのチョン太、上手より登場。

チョン太 小僧さん。小僧さん。 (間) いないねえ。お祭りに行けたのかなあ。

——小僧、下手より登場。

チョン太 あつ、小僧さん。

小僧 チョン太。

チョン太 小僧さん、お祭りに行けたの？

小僧 和尚さんのお許しが出て、いつてきたよ。

チョン太 どうだった？

小僧 うん、楽しかったよ。ほら、ごらん。(もっているコマを見せる)

チョン太 ピカピカ光ってる。

小僧 コマ屋のおじさんが、くれたんだ。

チョン太 ねえ、ねえ、回して見せてよ。

小僧 いいとも。それつ。(コマは、くるくる回る)

チョン太 回る、まわる。(間) まだまだ、回ってる。すごい、すごい。

——突然、羽音と、風のような音がして、烏天狗、上手上空から現れる。

M₆ 飛ぶ音楽
SE 羽音

烏天狗 やいっ、小僧。

小僧 コマ屋さんだ。さつきは、どうもありがとう。

烏天狗 さつきは、商売のじゃまをしてくれたな。おかげで、今日はサツパリだったわい。

小僧 ……。

烏天狗

ワシを誰様だと思っっているんだ。(キツネの面を取る) ワシは、あきはさん秋葉山の

天狗様だ。

小僧

やっぱり、天狗だったんだあ。

チヨン太

わー、天狗だあ。(上手に、逃げ去る)

烏天狗

そのコマを返せ。

小僧

やだよ。これは、もらったんだもの。(コマをしっかりとかかえる)

烏天狗

返せといったら、かえせえ。

小僧

やだよ。くれるって、いったじやないかあ。

烏天狗

四の五のいわずに、返しやがれ。

小僧

やだよ。

烏天狗

めんどうだ、お前ごとさらっていく。(小僧をかかえこむ)

小僧

いやだー、やめてよお。

烏天狗

じたばたするな、小僧。行くぞお。

M₇

飛ぶ音楽

SE

羽音

——風のような音がして、烏天狗、小僧をかかえて、上手上空に飛び去る。

第4場

天狗の山

——パネル、裏返って、天狗の山。

小僧を抱えた天狗、下手上空より、ケコミ中央に降り立つ。

小僧

はなしてよお。

烏天狗

静かにしろお。ここまで来たら、逃げられないぞ。

小僧

やだよお、帰してよ、お寺にかえしてよ。

烏天狗

(舞台奥に向かって) お頭、おかしらー。

M₈

天狗登場

——恐ろしいな効果音とともに、大天狗、山のパネル上手より登場。

後ろから、天狗たちも登場。

大天狗

おお、帰ってきたか。今日の獲物はこれか。

、烏天狗 小僧、一匹でございます。

大天狗 よおし、お前が、こやつを天狗に仕込め。

小僧 いやだー、やめてよお。お寺に、帰してよお。

大天狗 小僧！ 観念して、天狗になれー。

天狗たち 観念して、天狗になれー。

小僧 いやだー、帰してよお。

大天狗 やかましい！ 天狗になれー。

天狗たち 天狗になれー。さあ、さあ、さあ、さあ。

小僧 いやだー、天狗なんて、大嫌いだあ。

天狗たち さあ、さあ、さあ、さあ。

小僧 いやだ、いやだ！ 天狗なんて、いやだあ。

天狗たち さあ、さあ、さあ、さあ。

小僧 いやだ、いやだー。

天狗たち さあ、さあ、さあ、さあ。

小僧 いやだ、いやだー。

大天狗 どうしても、いやか。

小僧 いやだ、いやだー。

大天狗 強情な小僧だ。よし、こうしよう。ワシらと三番勝負をして、一番

でもお前が勝つたら、お前の願いどおり帰してやろう。

天狗たち 帰してやるから、三番勝負。

大天狗 まずは、風おこし勝負だあ！ 風をおこして、この木の葉をとばせ。

これを、貸してやる。(羽うちわを投げる)

小僧 こんなのできないよ。(といいながら、バタバタあおぐ。あおぐ効果音) それ、

それ、それー。それ、それ、それー。(何度もやるが、びくりとも動かない)

烏天狗 よおし、オレ様だ。小僧、貸せ。(羽うちわを取り上げ、あおぐと簡単に舞

い散る) それーっ。

小僧 わーっ、すごい。

大天狗 天狗になれば、お前にもできるぞ。

小僧 天狗なんて、いやだ、いやだー。

大天狗 よし、今度は、木登り勝負だ。用意しろ！

SE

羽音

SE

羽音

==== SE

== コマ回し

大天狗 ワツ、ハハハハ。強情なヤツだ。あと、一番しかないぞ。よし、今度は、お前の得意なもので、いいぞ。

小僧 うーん。(考える) よしっ、コマ回しがいい。

烏天狗 それは、オレ様の得意技だ。かかってこい。

小僧 ——— 烏天狗は大ゴマを、小僧もコマを取り出し、コマを勢いよく回す。

烏天狗 そーれーっ。

小僧 えーいっ。

小僧 2つのコマ、互いにぶつかり合うが、烏天狗のコマがはじき飛ばされる。

小僧 勝った、かった。ボクが、勝った。さあ、お寺に帰してよ。

大天狗 待てまで、ワシとの勝負が残っている。

小僧 いいとも、さあ、かかってこいっ。

大天狗 調子にのると、痛い目にあうぞ。ワシの大ゴマを持ってまいれ。

小僧 ——— 烏天狗、大ゴマを取り出し、渡す。2人、コマを勢いよく回す。

小僧 えーいっ。

§ § § SE § § § ☆ § § § SE

木登り

木登り

小僧 木登りか？ 木登りは得意だ。今度は負けないぞ。

大天狗 小僧、やってみろ。

小僧 よーし。(つばを付ける) ペっ。ペっ。ペ。よいしょっ、よいしょっ、よいしょっ。(木に飛びつき、登ろうとするが、途中から滑り落ちる)

大天狗 ワツ、ハハハハ。この棒は、天狗になるための修行の木だ、簡単には登れんぞ。

小僧 (再び、登る) よいしょっ、よいしょっ、この棒はツルツル滑るぞ。よいしょっ、よいしょっ。(もう少しのところまで、下まで落ちてしまう。効果音)

大天狗 イテッ、イテテテッ。

大天狗 よし、こっちの番だ。やれっ。

烏天狗 ハッ。(木に飛びつき、あっという間に登る。効果音)

小僧 すごーい。

大天狗 お前も、天狗になれば、簡単に登れるようになるぞっ。

小僧 ——— 烏天狗、棒を片づける。

小僧 天狗なんて、いやだ、いやだー。

==== SE
== コマ回し

大天狗 そーれーっ。

——2つのコマ、互いにぶつかり合う。なかなか、勝負がつかない。

天狗たち 回れ、まわれ。どんどん、回れ。回れ、まわれ。どんどん、回れ。
回れ、まわれ。どんどん、回れ。

——とうとう、大ゴマがはじき飛ばされる。

大天狗 ワツ、ハハハハ。お前の勝ちだ。小僧つ子に、してやられたわい。

約束通り、寺に帰してやろう。

小僧 本当につ！

大天狗 ワツ、ハハハハ。天狗は、ウソはいわん。さあ、このコマも全部やる。
(風呂敷にのったコマを投げる)全部持つて帰れ。

——小僧、風呂敷にコマを包み、抱えて持つ。自分のコマは、ふところに入れる。

小僧 これ、全部、もらっていいの。友だちのチョン太と、チョン吉にも
わけてやろう。ボクの大切なコマは、こっちに入れてっど。(懐ふところにしま
う)

大天狗 小僧、用意はいいか。(羽うちわを取り出し、小僧に向かっておおぐ)それ、

いくぞお。それーっ。

——小僧、風にのって、上手に飛び去る。風の音。

大天狗 野郎ども。引き上げるぞ。

天狗たち へーい。

——天狗たち、パネル上手裏に退場。

M₉ ### SE
天狗退場 小僧飛ぶ

第5場 山寺の本堂

——パネル裏返ると、阿弥陀様の像。

チョン太、チョン吉を連れて、上手より登場。

チョン太 チョン吉、早く来い。

チョン吉 小僧さん、天狗にさらわれていったの？

チヨン太 コマ回してたら、烏天狗やってきて、さらわれちゃったんだ。
チヨン吉 大変、たいへん。和尚さんに知らせなくちゃ。

——効果音と共に、小僧、上手上空から、ケコミ中央に落ちてくる

小僧 わーあつ。

二匹 わーあつ。

チヨン太 小僧さんだ。

チヨン吉 小僧さん、大丈夫？

小僧 チヨン太にチヨン吉。

チヨン吉 天狗にさらわれたんだって？

小僧 天狗の山に連れて行かれて、もう少しのところで、天狗にされそう
になっただ。

チヨン太 えーっ。

小僧 三番勝負をすることになって、最後にコマ回しで勝って帰してもら
えただ。

チヨン吉 すごい、すごい。天狗に勝ったんだ。

小僧 それで、天狗が持っているコマを、（首から包みはずす）全部くれた
んだ。ほら、（包みを開いて）たくさんあるから、チヨン太と、チヨン吉
にも分けてあげるよ。（効果音）どれが、欲しい？

チヨン太 （包みをのぞいて）小僧さん、これ、全部シイタケだよ。

小僧 何だって？ シイタケ？

チヨン太 そうだよ、全部シイタケだよ。

小僧 ホントだ。シイタケになってる。そうだ、ボクのコマは？（ふところ
からコマを出して、見る）あつ、ドングリになっっている。

チヨン吉 ほんとだ、ドングリだ。

チヨン太 みんな、シイタケとドングリになっちゃったんだあ。ガツカリ
だねえ。

小僧 ガツカリ……。でも、無事に天狗に帰してもらったから、いいか。

チヨン吉 そうだよね。よかったね。

チヨン太 小僧さん、ボクたちのドングリのコマを、分けてあげるから、い
っしょに遊ぼう。

M₁₀
エンディング

小僧 いいのかい？ ありがとう。
チヨン吉 じゃ、ボクたちのうちに、取りに行こう。
チヨン太 行こう、いこう。

♪ どんどんドングリ コーマがドングリになっちゃった
　　いしいシイタケ コーマがシイタケになっちゃった
天狗のコーマは 　　いしいシイタケ

天狗のコーマは 　　どんどんドングリ

——歌いながら、上手ソデに退場。

司会、下手よりケコミ前に登場。

司会

みなさん、どうでしたか？ せっかく天狗にもらったステキなコマは、全部シイタケと、ドングリになってしまいましたね。これで、伊豆の昔話「てんぐのコマ」のお話は、おしまいです。最後に、お人形さんたちに出てきてもらいましょう。

M₁₁
カーテンコール

——音楽。

歌いながら、人形を持って、上・下手から登場。司会も人形を受け取る。

歌い終わって。

司会

（人形の紹介）コマ回しの大名人の小僧さんです。小僧さんの友だちのチヨン太とチヨン吉、そして、和尚さんです。小僧さんをさらっていった烏天狗です。コマ回しで、小僧さんに負けちゃった大天狗。それでは、みなさん、またどこかでお会いしましょう。

みんな

さようなら——。

——全員、手を振りながら、上・下に別れて退場。

あとがき

この脚本は、人形劇サークル「たね」が1998年に初演した、根岸純子作「てんぐのこま」を、2007年度作品として再演するために、藤原玄洋が新しく書き直したものです。

なるべく、原作で創られたエピソードを生かして、改作しました。コマが、シイタケになってしまうという原話は、舞台として少し地味なのですが、ここは変えずに、キラキラ光るステキなコマを天狗がくれたようにしたことと、最後に全部シイタケになるところは、縁日でもらったコマだけは、リスたちの作ったドングリのコマに合わせることにしました。

上演の際は、天狗のくれたコマを、スパンコールや何か光るものを貼って、魅力的にすることがポイントです。もう一つは、コマを回す場面を、舞台でどのよう表現するかが大切です。

リスたちを、小僧さんの友だちとして明確にし、交流の場面を追加しました。チョン太は兄さんで、チョン吉は弟として、性格づけをしています。

2007年5月 藤原玄洋